市政に関する一般質問

今定例会では、２４名の議員が一般質問を行いました。

会議録の閲覧

【今定例会の会議録】
図書館等、議会ホームページで５月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

一般質問の表題

会派名　議員氏名　質問の順番

問　（質問の要約）

答　答弁者※

質問　通告事項の要約

（答弁の要約）

※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

公明党奥貫真紀　1

子育て支援施策について

問　育児休業を取得した女性職員が職場に復帰した後、より働きやすい職場環境をつくることについてどのように考えているのか。

答　副市長　本市では次世代育成支援の観点から、仕事と子育てが両立できる環境の整備に努めているところである。

民間企業における、いわゆる「イクボス」の育成のための取組例も参考に、管理職の次世代育成支援に関する理解を深め、引き続き、育児を行う女性職員だけでなく男性職員にとっても、より働きやすい職場環境の整備に取り組んでいきたい。

＊「イクボス」の説明は、16ページの「豆知識」をご覧ください。

質問　子育て支援施策

質問　子育て応援アプリ

やまぶき会　中原秀文　2

夜間観光振興の取り組み

問　観光スポットのライトアップなどの観光振興対策で経済効果の向上が期待できる。市は、夜間の観光振興に、今後どのように取り組むつもりか。

答　産業観光部長　今後は、様々な観光資源を生かし、観光エリアの拡大に向け、市の公式ホームページやSNS、Wi-Fiスポットの拡充等により、観光情報の効果的な発信を図りたい。

さらに、観光スポットでのライトアップや、飲食店をはじめとする民間事業者との連携により、観光客の滞在時間の延長が図られ、地域経済の活性化につながると考える。

夜間の観光振興を、川越のあらたな魅力の一つとして位置付けられるよう取り組んでいきたい。

質問　夜間の観光振興対策

やまぶき会　小高浩行　3

アライグマなどの被害状況

問　アライグマやカミツキガメなどの外来生物等による市内における被害は、どのようなものがあるのか。

答　環境部長　外来生物等による市内の被害状況は、アライグマによるものが多く発生しており、農作物被害、人家の天井裏での糞尿による衛生被害などがある。アライグマは、平成20年度以来、被害が年々拡大している。カミツキガメやセアカゴケグモによる被害の報告はない。外来生物以外の鳥獣被害では、ハクビシン、タヌキによるアライグマと同様な被害があり、その他、カラスがゴミ集積所のゴミを荒らしたり、ムクドリによる鳴き声の騒音、糞尿被害がある。

質問　公共施設マネジメント

質問　外来生物等の被害対策

政晴会　明ケ戸亮太　4

更なる寄附件数増の為に！

問　ふるさと納税ポータルサイトへの登録は行っているが、そこからの申込みが出来ない。クレジットカード対応等、申込みの簡素化は可能か？

答　政策財政部長　本市への寄附の申込みは、本市の電子申請システムを利用して申し込むこともできるが、民間事業者が開設しているホームページではクレジットカード決済ができるなど、寄附を希望する方にとって利便性が高い。

本市としても、先進自治体の事例や費用負担などについて調査、検討していきたい。

質問　ふるさと納税

質問　本庁舎の地下食堂

無所属　小林薫　5

公共施設の課題について

問　文化施設やウェスタ川越大ホールを学校行事等で使用する場合、早期申請を受け付けることはできないか。

答　副市長　文化施設の早期申請については、様々なご意見、ご要望をいただいている。こうした状況を踏まえ、施設の設置目的や公平性等に十分配慮しながら、見直しについて検討したいと考えている。

質問　市長の政治姿勢

質問　公共施設の課題